

暮らしのSDGs 学習会

日本の国土の約12%を占める農地のうち、農作物を栽培していない耕作放棄地が全国で拡大して、すでに1割近くに達しています。放置されたままの耕作放棄地の増加は、地域の荒廃につながりかねません。国を挙げて抜本的な対策に取り組む必要があります。農地で太陽光発電を実施して農業を再生する手段が「ソーラーシェアリング」です。農地の上部に太陽光パネルを設置して、その下で農作物を栽培します。自然の恵みである太陽光を農業と発電の両方に利用することから、ソーラーシェアリングと呼びます。

実際にソーラーシェアリングで成果を上げる地域が全国で増えています。代表的な事例は千葉県の匝瑳市です。すでに40カ所の農地でソーラーシェアリングを実施しています。

今回、その匝瑳市の市民エネルギーちば専務取締役の宮下氏がオンラインで講演された内容を映写します。（紹介文は自然エネルギー財団のHPの一部を抜粋で利用しております）

<第217回暮らしのSDGs学習会>

- 1, 日時 = 2026年1月9日(金) 13:30 ~ 15:00
- 2, 会場 = 流山市生涯学習センター 3F会議室
- 3, 内容 = ソーラーシェアリングの現状と課題
- 4, 講師 = 宮下朝光氏(市民エネルギーちば専務取締役/環境事業部本部長)
*リネットちば主催オンラインで講演された内容で映写の許可を頂いております
- 5, 担当・申込 = 筒井 義憲 (Tel: 090-3130-5541)
E-Mail tsutsu_1213_yoshi@yahoo.co.jp

主催 :	暮らしのSDGs学習会
実施 :	温暖化防止ながれやま(略称OBN)
URL	http://obn-na.org/index.html

<次回予定>

- 日時 = 2026年2月13日(金) 13:30 ~ 15:00
場所 = 流山市生涯学習センター 3F会議室
内容 = 森林インストラクターとは何か、またその役割は?
講師 = 山浦信介氏 (NPO法人 千葉県森林インストラクター会 所属)